



国際宇宙ステーション (ISS = International Space Station)

今年3月に土井隆雄さんがスペースシャトル (STS-124) で宇宙ステーションへ行き、日本初の船内実験室『きぼう』の取り付け作業を行いました。作業といっても地上とは違って地面はなく、上下の感覚もない世界ですから作業はしづらいのでしょうね。間違っても工具やネジ等を落としたら、足下には落ちず宇宙空間に飛んでいってしまいます。そしてそれらは地球を回る『役に立たない人工衛星』になってしまうのです。このような『役に立たない人工衛星』をスペース・デブリ (宇宙ごみ) といいます。

宇宙ステーションの完成は2010年の予定ですが、完成すれば長さ108.4m、幅74mでほぼサッカーコートのおおきさとなり、人類が宇宙空間に建設した飛行物体では最大になります。

この写真は土井さんが行く前の1月31日に撮影したものです。南西の地平線からオリオン座に向かって飛行する宇宙ステーションがとても明るく見えました。

綺羅星・星座図鑑

犬とその仲間たちの星座

犬と言えば猫と共にペットの代表的な存在ですが、犬の仲間たちの星座っていくつあるでしょう。

◎大犬（おおいぬ）・小犬（こいぬ）座

大犬座と小犬座は共に冬の星座です。どちらも猟犬ですが、親子関係はありません。大犬は猟師オリオンが連れてくる猟犬ですが、小犬は農芸の神アクタイオンの猟犬メランポスです。アクタイオンは女神アルテミスのかみ殺しによって鹿に変わりましたが、それとは知らない猟犬の群がかみ殺したという悲しい神話があります。メランポスはその中の一匹だということです。

大犬座にはシリウスという大変明るい星があります。この星は-1.5等と全天一

明るい星で、冬の凍てつく空にギラギラと輝く白い光は、まさに星の王様です。こんなに明るいのはこの星の直径は太陽の約2倍で、距離が7.8光年という近さにもあります。小犬座にはプロキオンという1等星がありますが、こちらも太陽の約2倍で、距離は11.2光年と近い方です。こちらはやや黄色味がかかった優しい光です。

小犬座にはプロキオン以外目立つ星も星雲や星団もなくさみしいです。大犬座は二重星や星団が多くあります。シリウスの南にM41という星団があります。星数はそれほど多くありませんが、双眼鏡でもX型に並ぶ星列が簡単に解ります。なお、シリウス、プロキオンとオリオン座のベテルギウスを結んでできる三角形を『冬の大三角』といいます。

◎猟犬（りょうけん）座

猟犬座は北斗七星のとなりにある星座です。目立つ星はわずか二つしかないため、ここから二匹の猟犬を想像するのは難しいでしょう。特に北側の犬には犬の姿を連想させる星がひとつもないので、犬の姿を見いだすのは困難です。二匹の犬の名前は北がアステリオ





の銀河が寄り添って仲の良い親子のように見えます。小型の望遠鏡ではダルマのように見えますが、大きな望遠鏡では渦巻きの姿がわかります。このほかにもM63, M94, M106 などの明るい銀河があります。また、うしかい座との境界付近にあるM3 という星団は、ボールのように丸く集まった星の群がみごとです。

ン、南がカーラといひます。

星座絵を見ると、『牛飼いが二匹の犬を連れて熊を追う姿』に描かれていますが、星座を制定したプトレマイオスは、獵犬座を大熊座の一部としていたようで、1690年にヘヴェリウスが独立させました。

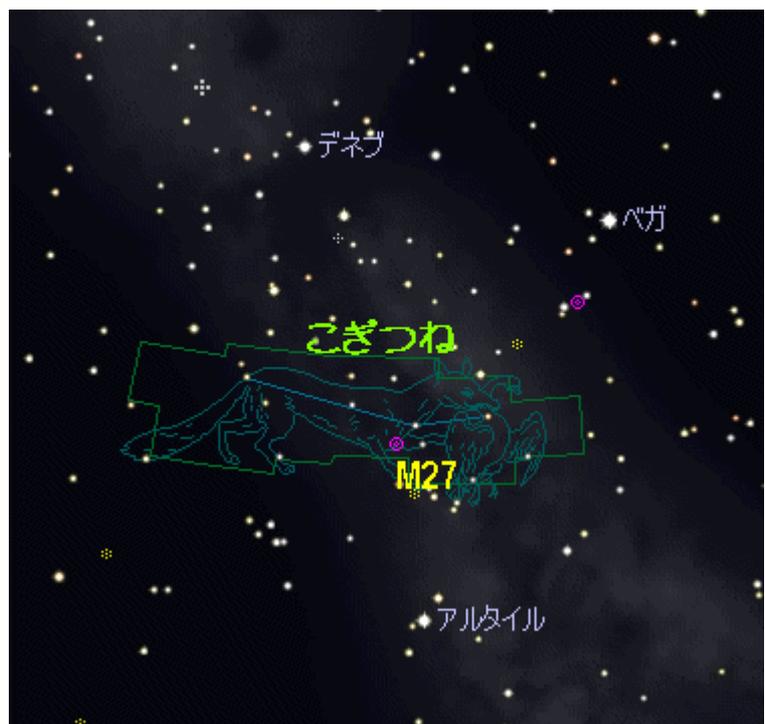
獵犬座には目立つ星がなく寂しい限りですが、銀河は多くあります。中でも北斗七星の近くにあるM51は『子持ち銀河』という愛称で親しまれ、大小二つ



◎小狐（こぎつね）座

白鳥座のとなりにある星座で、1690年にヘヴェリウスによってつくられました。個々の星はあまり明るくないうえ配列のわかりにくい星座です。星座絵を見ると鳥を喰わせた狐の姿が描かれていますが、もともとは『小狐とガチョウ座』と呼ばれていたそうです。

星空から小狐の姿を見いだすのはなかなか困難で、星座は天の川にかかっているのに星数は多いのですが、一番明るい星でも4.5等星と暗く、街灯の多いところではそれすら見えないでしょう。大まかな位置としてはベガ・デネブ・





アルタイルでつくる『夏の大三角』の中になります。

小狐座で有名な天体というと、ほぼ真ん中あたりにあるM27 という星雲でしょう。新星爆発した星の残骸で、丸いせんべいを両側からかじったような姿をしています。真ん中のくびれている姿が鉄アレイに似ていることから、『あれい星雲』という名で親しまれています。双眼鏡でも小さな雲の切れ端のように見えますが、小型の望遠鏡でも丸かじりせんべいの姿がわかります。

◎狼（おおかみ）座

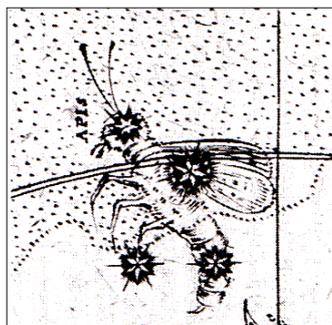
さそり座の西にある星座で、星座絵ではケンタウルスに槍で突かれた姿に描かれています。星座の起源は古く、プトレマイオスの48星座に含まれています。最初はケンタウルス座の一部だったようで、後にヒッパルコスによって独立しました。

狼座には3等級の星が9個もあってにぎやかなのですが、南に低いため北海道からは北側半分しか見えず、

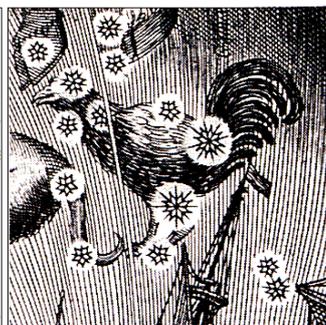
全体が見えるのは四国・九州以南になります。そのため北海道からは狼座の印象は薄く、今ひとつイメージがわきません。小型の望遠鏡でも見える二重星が多いらしいので、ご覧になるといいでしょう。



「My Stars 通信」の天文図は **StellaNavigator6 (AstroArts)** を使用しています。



みつばち座



おんどり座

綺羅星列伝

今回は三遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお祈いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : Dolphin star

2007年6月21日。

Dolphin star 第1号スクールとなる、綱島カルチャーセンター☆チアリーディングクラスが開講しました。

開講に伴い、チーム名が必要となります。これから始まるチームに何という名前をつけようか、とても悩みました。

そんな折、こんな制度を知りました。

「My stars system」です。

北海道に初山別天文台というところがあります。

夜空に輝く星の数は無数ですが、その全てに名前がついているわけではありません。

名前がついているのはおおがね 5 等級以上の星、数千個にすぎません。

しかし、ここ初山別天文台では約一億個の星が観測できます。

それらには認識番号がついているだけです。

この名もない星を個人で所有し、名前をつけることができるというシステムが

「my stars system」なのです。

「自分たちのチームの星があったら素敵だなあ☆」

そんな想いから、この制度を利用し、チーム名を決めることにしました。

まずは、星座選びからスタートです！！

候補がいくつもある中から、好きな星座を選ぶことができます。

沢山ありすぎて悩みましたが、6月中旬から始ま

るスクールということもあり、

6月中旬から輝きだす星座を探しました。

そこで目にとまったのが「イルカ座」です☆

イルカ＝「Dolphin」という響きもいい♪

そして、港町「横浜」のイメージにもぴたり！！

そんなわけで、「イルカ座」に決定しました！！

名前をつけるのはひとつの星なので、その星には

Dolphin star

という名前をつけることにしました。

そして、それをスクール名としました。

次に重要なのがチーム名です！！

今回始まるチアスクールは園児～小学生が対象となるため、

イメージ的にも響きのにもかわいらしい

Dolphin☆kids

という名前をつけることにしました。

Dolphin☆kids のみんなの所属は Dolphin star です。

そして、Dolphin star はチームみんなの星です☆

夜空に輝く Dolphin star のように、キラキラ輝くチアリーダーになってほしい

という願いを込めています☆

星の名前 : **masatomobosi**

H19、12/24に登録しました。

9月に婚約した 彼氏の名前まさゆき と 私ともこ の名前を合わせて“masatomobosi”と名付けました。

この度H20 2/14 無事入籍し、3/15には彼の実家の山梨県で式を挙げ、3/30には札幌で結婚式をします。

彼が全国、世界に転勤がある仕事なので、これからはずっとあちこちに住むことになりませんが、生まれ育った北海道で、そして大好きな星オリオン座に愛する人との名前を刻みたいと思

いました。

このMy Stars systemを知った時から将来結婚する時には、だんな様と一緒に星をつくりたいなと学生時代から思っていたので夢が叶って嬉しいです！

今度はいつか自分の子供が生まれたら同じオリオン座に名前を刻みたいと思います。

ずっと夫婦仲良く健康で暮らせますように・・・

願いを込めて。

星の名前 : **JediHideakiKiyozuka**

私は大聖年の年、ヴァチカンにあるシスターナ礼拝堂を訪れた。私がミケランジェロによる「最後の審判」を眺めていると、私をくJediと呼ぶ主の声聞いた。あれは間違いなく私のMasterである主の声であった。

3年間、私は信仰の道を歩んできた。私は主にこう答えた。「世にいる間は、あなたの永遠のPadawanです」

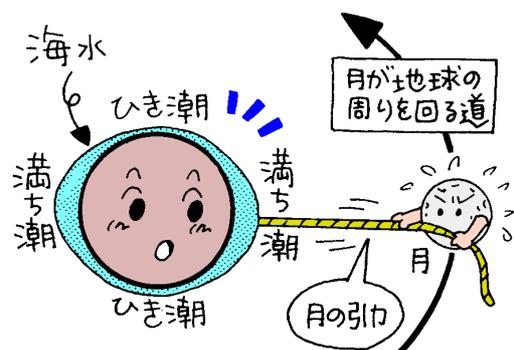
されど主はこう答えた。くお前はもう一人前

の Jedi だ。しかし低さがなければまた、高みに至ることもないということを忘れるな>

カシオペヤ座の星にこの事を託そうと思ったのは、私の誕生日を代表する星座だからだ。

この星座にある者は、威厳が備わっているものの、傲慢、自惚れ、自信過剰といった欠点があるという。

私はこうして現在も修行の真っ只中にいる。人として、また1人の Jedi として・・・



こちら情報室

○天文情報（6月～11月）

2008年後半は前半よりは良いですが、特に目を引くような現象はありません。

流星・彗星

- 8月12日を中心にペルセウス座流星群

今年は17日が満月なので、条件としてはあまり良くないですが、明るい流星も多いので月明かりを背にして見ると良いでしょう。

- 10月21日未明にオリオン座流星群

ハレー彗星に関連する流星群で、2006年は予想外に活発でした。今年は21日が下弦の月でオリオン座の近くにあるためちょっとじゃまになりますが、明るい流星も多いので見られるでしょう。

- 11月17日にしし座流星群

2001年の大出現から7年になりすっかりおとなしくなりましたが、時々明るい流星は流れます。今年は20日が下弦なので多少月明かりがじゃまになります。

◎ 彗星を見よう

- 今年の春は10等級の彗星はいくつも見られましたが、一般の人の対象になるものはありませんでした。突然現れて明るくなるものがあるかも知れませんが、天文ニュースに注目しましょう。

日食・月食・星食

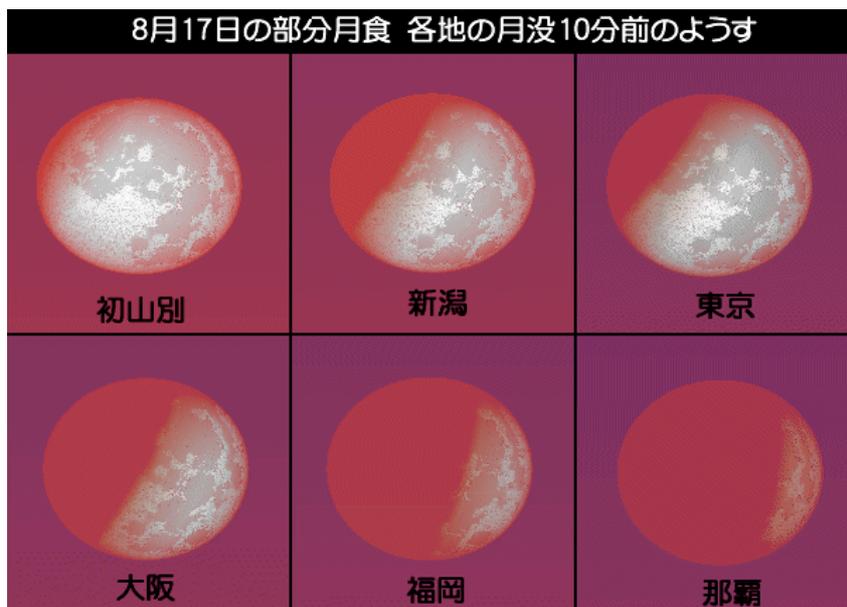
- 日食・月食は2回ありますが、8月17日未明の月食はほぼ全国で部分月食が見られます。

- 月が惑星を隠す惑星食は10月10日の日没後、海王星食が全国で見えます。

- 1等星の食は残念ながら日本では1回も見られません。

- 月によるすばるの食が7月27日深夜、10月17日夕方、11月14日明け方の3回見られます。

このうち7月27日は下弦すぎの月なので月も星も見やすいでしょう。



惑星

♁：9月11日は夕方の西空で、7月2日と10月22日は明け方の東空で最大離隔となり見やすくなります。10月22日の水星は高度も高く見やすいです。

♃：6月9日に太陽の向こう側で外合となり、夏休みが始まる7月中旬ころから夕方の空に見えてきますが、8月以降見やすくなります。年末ころは半月型に見えます。

♂：8月ころまで夕方の空にありますが、次第に太陽に近づきしばらく見えません。

♄：7月10日に地球に接近しこの夏一番見やすい惑星です。今年はいて座にあるため南に低くく条件はやや悪くなっていますが、木星は大きいので十分見やすいでしょう。

♅：9月5日に太陽の向こう側で合になり、今シーズンは7月いっぱい終了です。環はずいぶん細くなってきました。

♆：9月13日に地球に接近しますが、遠いので小さく丸く見えるだけです。大きな望遠鏡では衛星が2、3個見えます。

♇：8月15日に地球に接近しますが、天王星より遠いのでふつうの星とあまり変わりません。大きな望遠鏡で衛星トリトンを見ることができます。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars 通信」の送付について、登録番号 8120 までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたくお願いします。

[編集後記]

2008年4月末現在の登録者数は8116名です。

今年はオリンピックイヤーということで、8月に中国で開催されます。チベット問題が世界中に飛び火しゴタゴタしていますが、無事終わることができるのでしょうか。と、書いているうちに中国で巨大地震が・・・

昨今地球の温暖化が問題になっています。太陽の活動が低迷していること2、3年は本来なら低温傾向にあるはずですが、雪解けが早くなったり真冬に雨が降ったりと言うことで実感しています。北極の氷もずいぶん少なくなって、南極の氷床が崩れ落ちる映像を見るたび『地球はどうなっちゃうのかな』と考えてしまいます。春は毎年春霞で透明度が悪くなりますが、今年は西の水平線方向がなんだか茶色っぽく見えていました。中●のスモッグかな・・・何て思ってしまいました。桜の開花は全国的に早まって桜まつりの日程が大変だったということでしたが、初山別も例外ではなく、いつもは5月10日前後に咲くはずが、今年は4月25日には開き初めていました。

ドームの隙間からの雪はほとんどなくなり快調でした。昨年から見えていたホームズ彗星はどんどんおおきく広がり満月の1.5倍にもなり驚かされましたが、拡散した分暗くなり今年に入ってからほとんど肉眼で見えることはできなくなりました。大きさは相変わらず大きいままです。

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬 153-7

天文台ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp